

会 議 要 旨

会 議 名 称	令和4年度 第1回加古川市環境審議会
開 催 日 時	令和5年2月9日（木）午後2時から3時20分まで
開 催 場 所	加古川市役所 新館10階 大会議室
出 席 者	<市長> 岡田康裕 <委員>（敬称略、順不同） （出席者：18名） 河合豪史、工藤仁、下村千登勢、成川利幸、丸山良作、山口大介、山本亜也夫、石田弘明、井関崇博、奥勇一郎、清野未恵子、佐竹邦子、豊田陽介、石野悟、松岡智郁、西川孝晴、堀江智恵子、守家法子 （欠席者：1名） 前島克彦 <事務局> 竹中重夫、新濱義孝、福山新一郎、瀧石弘、藤本雅彦、栗栖伸生、畑悦子、神田結奈、松本勝稀
会 議 次 第	1 開会 2 委嘱状交付 3 市長あいさつ 4 会長の選出 5 諮問 6 議事 （1）議案 ①副会長の選出 ②部会設置（案）及び各部会に所属する委員について ③第3次加古川市環境基本計画の改訂に関する基本的な考え方について ④第3次加古川市環境基本計画の改訂スケジュールについて （2）報告事項 第3次加古川市環境基本計画の施策の取組結果について 7 閉会 8 その他
配 付 資 料	資料1 加古川市環境審議会委員名簿 諮問書の写し 資料2 部会設置（案）について 事務局案 各部会に所属する委員について 資料3 第3次加古川市環境基本計画の改訂に関する基本的な考え方について 資料3 参考資料 加古川市の温室効果ガス排出量 資料4 第3次加古川市環境基本計画の改訂スケジュール 資料5 第3次加古川市環境基本計画の施策の取組結果 参考資料 加古川市環境審議会規則
傍聴者の数	0人

審議内容（発言者、発言内容、審議経過等）	
	1 開会
	2 委嘱状交付 岡田市長より各委員に委嘱状が手渡された。
	3 市長あいさつ 岡田市長よりあいさつ
	4 会長の選出 委員の互選により、会長には奥委員が選出された。
	5 諮問 岡田市長より奥会長に諮問書「第3次加古川市環境基本計画（改訂版）の策定について」が手渡された。
	6 議事 （1）議案
	①副会長の選出 委員の互選により、副会長には山本委員が選出された。
	②部会設置（案）及び各部会に所属する委員について 地球温暖化対策部会、自然環境部会、環境保全部会の3つの部会を設置し、各部会に所属する委員を決定した。
（事務局）	③第3次加古川市環境基本計画の改訂に関する基本的な考え方について 第3次加古川市環境基本計画の改訂のポイントや新たな温室効果ガス排出量の削減目標（2030年度に2013年度から48%削減）について説明。
（委員）	ため池ソーラーの導入促進とあるが、ため池には生物多様性の保全という意味で非常に重要な意味がある。また、ため池のかいぼりを行うことで、川や海にも良い影響がある。ため池に太陽光パネルを設置する際は、生物多様性に配慮した導入を検討していくのか。
（事務局）	ため池には貴重な生きものが生息しており、かいぼりにより栄養分が川や海に流れるという役割があるため、ため池の重要性は認識している。一方で、調査の結果生きものに大きな影響を与えないと判断された場所や、地元で管理が難しいとされた場所に対しては、生物多様性に配慮しながらの設置について検討したい。
（委員）	2030年度48%削減という目標は、エネルギー管理指定工場を含めるのか。

(事務局)	現計画と同じく、エネルギー管理指定工場を除いた目標である。エネルギー管理指定工場に対しては、個別に連携し情報交換しながら削減を指導していく。
(委員)	県はエネルギー管理指定工場を含めて48%削減を目標としている。県の目標と整合が取れるようにしてほしい。エネルギー管理指定工場だけの目標を定める等、進捗管理していかないと目標に向かって進んでいかない。県と市で一緒に協力して削減を進めてほしい。
(事務局)	④第3次加古川市環境基本計画の改訂スケジュールについて 令和4年度及び令和5年度における環境審議会の開催予定や作業内容等を説明。
(事務局)	(2) 報告事項 第3次加古川市環境基本計画の施策の取組結果について 令和3年度及び令和4年度に実施した補助事業、環境教育・啓発事業及び庁舎での取組について報告。
(事務局)	7 閉会
(事務局)	8 その他 4月の地球温暖化対策部会の開催について連絡。